

あわしま

【発行】

平成20年 9月 1日
公民館 第7分館
粟島イベント実行委員会

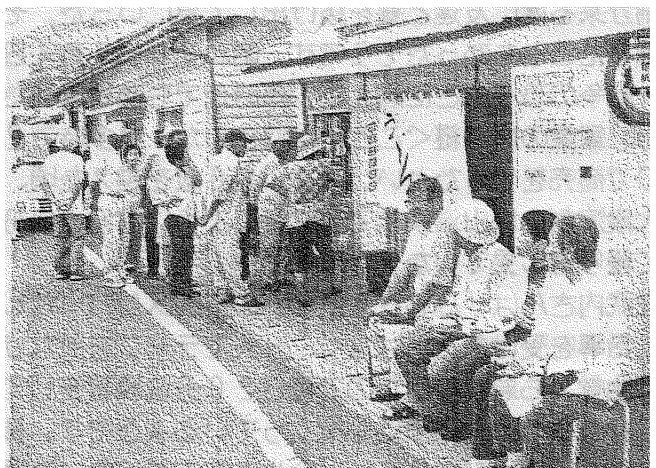
賑やかだった蟬の声も次第に衰え、日が沈むと虫の声が高く聞こえる頃となった。この1ヶ月で日の出が22分遅く、日の入りが34分早くなった。つまり昼間が56分短くなったということになる。秋の日が暮れる速さを「つるべ落とし」に例えられる。それにしても、今夏は猛暑続きだった。ようやく粟島でも空の雲、虫の鳴き声などに秋が感じられる。14日は仲秋の名月。お月見だんごを供え、ススキなど秋の草花を生けてお月見を祝った風習も殆ど見られなくなった。7分館の定例行事としてお月見ハイキングがある。伝統行事の一つとして定着している。「お月見」は中国を経て日本に伝わったといわれる。その昔、貴族が月を觀賞し管弦の樂や和歌を楽しむ宴を開いたそうだ。やがて地方に伝わり。農村では農作物を供えて月に感謝する行事として定着したという昔の人は月に寄せる関心や思いが現代より深かったのかもしれない。

15日は敬老の日、老人を敬い、慰める日として昭和41年に制定されたが当時は、65歳以上の高齢者は600万人、全人口の6%、今は、2200万人で17%、島の各自治会で全員が65歳以上の自治会もある。日本の高齢者は、年齢から10年を引算すると「敬老の日」制定当時の精神的、体力的にもつりあう高齢者になるという情報もある。75歳は65歳ということである。台風シーズンも近い。

油断禁物。備えあれば憂いなし。

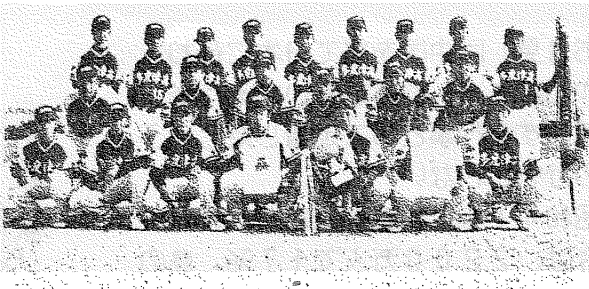
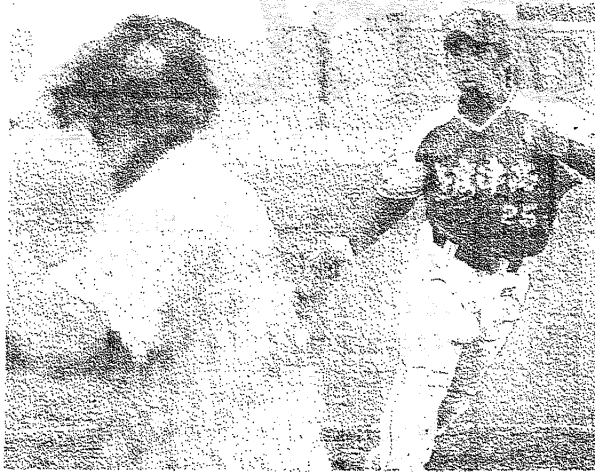
ご協力ありがとうございました「浮島」の撮影

Dウォーカーによる映画「浮島」は炎天下の中、一週間かけて夜中まで撮影を挙りました。島民参加のエキストラ協力も、日程の変更などで右往左往しながら、それぞれ大勢の方達にご協力頂きました。◎夜中迄の撮影でご迷惑した方。◎自らは関係しないのに迷惑だと騒ぐ方。◎時間の変更にも猛暑の中を律義に待って協力した方。いろいろあったが酷暑の中ご苦勞様でした。映画は11月開催の「さぬき映画祭」に出展するため編集中です。



栗中卒業生・・インターハイで大活躍

栗島中学校は、平成17年度をもって、58年の歴史に幕を閉じ休校しました。その最後の卒業生の高島博紀君は多度津工業高校に進学して、ソフトボール部でエースとして活躍しております。8月埼玉県で開催の全国高校総体では、初戦の埼玉栄を破って勢いに乗り、3回戦の熊本工戦では高島君が10三振を奪う力投で完封勝ち快進撃を続けました。



準々決勝では、全国選抜大会準優勝校の九産大九州に守備の乱れから逆転負けを喫したが大健闘でした。過疎の学校から大規模校へ行っても臆することなく堂々と活躍している高島君に大きな拍手を贈りたい。

この人 栗島に生きる 潟東 武内 信和さん(79歳)

誰からも「のうはん」と親しく呼ばれている武内信和さんは、小学校の頃から家の近くの芝居小屋によく観に行っていた。芝居好きは中学生になっても変わらず、高松の全寮制の中学校にいた頃、高松常磐町の「常磐座」に美勝館と言う女性ばかりの大衆演劇が来る度に友達と寮を抜け出して見に行った。その頃は将来役者になりたいとまで思ったこともあったそうです。昭和20年7月4日、高松での大空襲の惨事を経験し、戦争の恐ろしさに震えた少年時代でもありました。そのころ、栗島では義父が急逝し、家業の店を継ぐことになりました。最多時で20軒位あった小売業の中で、手探りで商売をやったといいます。60歳を越えた頃、ふとしたきっかけで、好きだった大衆演劇を城山温泉まで見に行くようになり、自分も踊ろうとビデオで盗み撮りをして繰り返し見ていたそうです。

現在武内さんは「ふるさと劇団」の主要メンバーとして活躍していますが、踊りは先生に指導を受けたことはなく、一人でテープを見ながら練習をしているとのこと。最近は物覚えも悪くなったので毎日20分位練習をしているとのこと。普段使わない全身を使うので健康にも役立っているようです。長い人生、辛いこともあったけど人に喜んで貰いながら楽しい余生ををおくりたいと言います。武内さんは頼まれれば手仕事も気軽に応じて器用にやってくれる頼れる「のうはん」です。

さわやか 青空 グランドゴルフ

長かった猛暑日も終わりを告げ、いよいよスポーツの秋となりました。お待ちかね、第3回グランドゴルフ大会を下記の要領で開催します。軽スポーツで健康増進、大声で笑ってストレス解消、簡単ルールで誰でも出来る楽しいグランドゴルフ大会に大勢ご参加下さい。

- 日 時 平成20年9月13日(土) 9時00分～
(雨天の場合は14日(日)に順延します)
- 場 所 栗島海洋記念公園 多目的広場



大勢ご参加下さい・・・お月見ハイキング

旧暦8月15日の月を中秋の名月と尊び、「月見」をする行事は古くからありました宮中の宴としての「観月」から次第に農作物を供えて月の神に感謝する収穫祭として庶民に広がり、稲穂の代わりにすすきを飾り、団子や芋などを供えて豊作を祈願するようになりました。第7分館では、十五夜の行事として「お月見ハイキング」を行い風流を楽しみながら地域の方々の親睦を図っております。

今年も下記の要領で実施するので大勢ご参加下さい。お月見だんごとお茶を用意してお待ちしております。

- ◎日 時 平成20年9月14日(日) 19時30分
(雨天の場合は15日に順延します)

- ◎集合場所 栗島開発総合センター前

- ◎コース 開発総合センター ～ 亀戎さん

(今年より、ゆっくりコースとして距離を短縮しました)



新聞紙・雑誌類・ダンボール

10月1日より粗大ゴミの収集日に提出

新聞紙、雑誌類、ダンボールは、今迄、束にしてゴミ集積場に出しておりましたが、10月1日より粗大ゴミの収集日に各自が持参することになりました。今後は、束にして自宅え保存して置き、年2回(無料)の粗大ゴミ収集日に自分で提出してください

氏神様・・・馬城八幡神社秋期例大祭

島民の氏神様であります。馬城八幡神社の秋期例大祭は9月20日(土)です。思いもよらぬ事件、事故の起きる殺伐とした現代です。自己を見つめ直し、日々の生活に潤いを保つためにも氏神様へのお参りはいかがでしょうか。

たくま港まつり 粟島踊り連 頑張る

粟島ウキウキ ピチピチ サンバ連

夏本番の8月9日(土) 詫間グラウンドとその周辺に於いて第37回たくま港まつりが開催された。「舞い舞い踊りコンテスト」「ステージショー」「花火大会」「昔なつかしい夜店」など日常では味えない開放感のある楽しい催しであった。

「粟島は高齢化しても老齢化はしませんよ」と猛暑の中を、大漁旗を着た粟島踊り連は総勢25名で参加した。暑い中開発センターで踊りの練習。粟島テラーサービスセンターよりは嬉しい3名の参加。突然の欠員にはNHKテレクターの飛入り参加など善意の協力で大いに盛り上がった。会場のお客さんよりは「粟島は凄い、素晴らしいアイデアで毎年楽しませてくれる」等と絶賛の声しきりであった。

そんな中、踊りの輪に加わって欲しい方、そして、それが出来る方がたくさん居るのも事実。みんなでの協力態勢が望まれる。



さぬき瀬戸クリーンリレー 2008

「さぬき瀬戸クリーンリレー」は「みんなで守ろう美しいふるさとの海辺」を合い言葉に、香川県の沿岸各地で実施されるクリーン活動をリレーの様につなぐことによって私達のふるさと「瀬戸内海」をみんなで守ろうというものです。

粟島にも、自治会、公民館、漁協などにそれぞれ協力要請が来ております。効率よく推進する意味で、下記の要領で同一日に島を挙げて行いたいと思います。全員のご参加をお願い致します。

◎実施日 平成20年9月6日(土) 7時より
(小雨の場合は決行しますが大雨の場合は順延致します。)

■ 粟島の人口	(平成20年 8月1日現在)
世帯数 153戸	人口 340人 《男 151人 女 189人》